

人工礁漁場造成事業（宮古地区、糸満地区）

川崎一男

1. 目的および内容

昭和55年から宮古地区、昭和56年から糸満地区の人工礁漁場造成事業が4ヶ年継続事業として実施されている。それに伴って、各年度ごとの漁場造成範囲内で魚礁沈設個所を示す目標物を設置する必要がある。そのため、今年度は9月に宮古地区人工礁漁場造成区域で10ヶ所、糸満地区で3ヶ所のブイ打を実施し、漁場造成事業の円滑化を図った。

2. 方 法

宮古地区では調査船図南丸、糸満地区では調査船くろしおを使用して、各魚礁沈設個所の位置測定はレーダー（図南丸JMA-157GB、くろしおJMA-510）で行ないブイを設置した。

3. ブイ設置位置

宮古地区、昭和56年9月11日実施。

- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| (1) N24°-41'42" E125°-08'48" | (2) N24°-41'42" E125°-08'36" |
| (3) N24°-41'26" E125°-08'36" | (4) N24°-41'26" E125°-08'56" |
| (5) N24°-41'14" E125°-08'56" | (6) N24°-41'14" E125°-08'46" |
| (7) N24°-41'14" E125°-08'34" | (8) N24°-41' E125°-08'34" |
| (9) N24°-41' E125°-08'46" | (10) N24°-41' E125°-08'56" |

糸満地区、昭和56年10月6日実施

- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| (1) N26°-09'18" E127°-33'50" | (2) N26°-09'16" E127°-33'52" |
| (3) N26°-09'14" E127°-33'55" | |

4. 魚礁設置個数および設置年月

宮古地区：ピラミッド型魚礁 24基 昭和57年 1月沈設

1.5m角型魚礁 2040個 昭和57年 1月沈設

糸満地区：1.5m角型魚礁 1118個 昭和56年10月沈設